

光市医師会報

No.442

(平成31年 新春号)



2019年1月1日室積海岸

光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

目 次

光市医師会報 No.442 (平成31年新春号)

1. 表紙	
2. 年頭にあたって	1
3. 学術講演会	
第6回学術講演会	2
第7回学術講演会	6
4. AED講習会	7
5. つながる輪ひかり後援会	8
6. 忘年会	9
7. 理事会報告	13
8. 入会・異動会員	23
9. 30年度会務分担表	24
10. 月例会報告	25
11. 10～12月の休日診療所	26
12. これからの行事予定	26
13. ゴルフコンペ	27
14. 編集後記	28

年頭にあたって



光市医師会長 竹中博昭

光市医師会員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかな新年をお過ごしのこととお慶び申し上げます。光市医師会長に選任していただき3回目の正月を迎えました。この間、皆様のご助力により大過なく運営できていること、安堵しております。執行部役員、先生方のご助力、光市医師会員の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、今年の医師会にとって大きな出来事として地域医療介護連携情報システムが平成平成31年4月から稼働開始予定となっております。まずは地域のかかりつけ医が紹介先の中核病院の電子カルテや検査データなどの患者情報をオンラインで閲覧できるシステムとなります。このシステムが成熟していけば連携情報（紹介状、診察・検査予約、地域連携パス）のやり取り、主治医意見書の作成や閲覧、介護認定の情報閲覧など行政機関とのやり取り、歯科医師、薬剤師、訪問看護師や介護関係者との連携まで行える可能性があります。周南市、下松市、光市の医療関連団体、行政の代表がこれまでに12回会議を重ね準備をしてきました。このシステム導入後の維持費に関しては以前も会報や月例会で何度も説明してまいりましたが、この4月より全施設から定額をご負担いただくことを昨年臨時総会で決議いたしました。様々なご意見が

あろうかと思われませんが、国が平成27年6月に「日本再興戦略」改訂2015で平成30年度までに全ての二次医療圏が地域の事情に応じて医療情報ネットワークを活用できる基盤を整備するという方針を示し、いわば国策であり、大きな流れの中で周南医療圏の多職種の関係者が頻りに会議を開き、議論した結果システム導入となった経緯がございます。なにとぞご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

今年の十干は己（つちのと）、十二支は亥（いのしし）で、干支は己亥（つちのとい）です。十干と十二支の組み合わせで60種類の干支があり、このため60年経つと一周して同じ干支に戻ります。今から60年前の己亥は昭和34年で、当時皇太子であった平成天皇が美智子様とご成婚された年です。干支が一周した平成31年に平成天皇は生前退位される予定となつて、不思議な巡り合わせであると思います。己は十干の6番目の文字で、草木に例えると十分に生育してこれから花咲かせ種を作るための準備の時期、組織に例えると成長、成熟した組織が足元を固めて次の段階に進む準備をする年とされています。また亥は十二支の中で最後、12番目の文字で、前年の犬が分化繁栄を意味し、それを引き継ぐ亥の字は現在の繁栄を維持し守る、植物に例えると生命力を種子の中にため込むという意味があるようです。これを踏まえると今年はいノシ年ではありますが猪突猛進ではなく、地味で良いのでじっくり落ち着いて医師会運営に当たりたいと考えております。

光市医師会員の皆様にとってこの1年が充実したものになることを願い、役員一同医師会活動に力を入れていきたいと存じます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

平成30年度 第6回 光市医師会学術講演会

平成30年10月23日(火)

19:00 ~ 20:00

光商工会館2階 研修室

特別講演 19:00 ~ 20:00

「手指衛生と環境整備」

座長 光市立光総合病院 消化器内科

部長 谷川幸治 先生

演者 光市立光総合病院 感染管理認定看護師

田中幸恵 先生



本日は「手指衛生と環境整備」というタイトルで、基本的なことに焦点を当ててまとめていきたいと思います。

手はどれだけ汚れているのでしょうか？ 一見清潔に見える医療者の手でも、多くの細菌を保有していることがわかっています(図1)。環境にも病原体は無数に存在し、



図1

医療者の手を通じて患者さんに感染しますので、手指衛生は簡単かつ効果的に感染経路を遮断することができます。

手指衛生の方法は、(i) 石鹸を用いた流水での手洗いと、(ii) 速乾性手指消毒薬を用いた手洗いの2種類があります。手に着いた目で見える汚れや嘔吐下痢の処置の後には(i)を、それ以外の場合は(ii)を行います。

(i)の実施場面、利点、欠点、手順を示します(図2、3)。石鹸を着けて15秒以上泡立てて洗ってください。ハッピーバースデーの歌が、ちょうどそのくらいの時間になります。除菌効果は15秒の場合1/4 ~ 1/13、30秒の場合1/60 ~ 1/600になります。水分が残っていると細菌が附着・繁殖しやすくなり、手荒れの原因にもなりますので、ペーパータオルでしっかり拭き取りましょう。手荒れ対策としては、

石けんを用いた流水での手指衛生の方法①

実施場面	<ul style="list-style-type: none"> 手指に目に見える汚れや血液・体液が付着している場合 嘔吐・下痢時のなどの処理を行った後 ※芽胞(クロストリジウム・デیفシルなど)や、アルコールの効かない菌・ウイルスに接触した可能性のある場合
利点	<ul style="list-style-type: none"> 物理的な汚れを除去できる
欠点	<ul style="list-style-type: none"> 時間がかかる 手荒れを起こしやすい 洗い残ししやすい(特に指先・親指周囲) 手洗い設備まで行かないと手指衛生ができない

図2

流水と石けんによる手洗いの手順



図3

温水は皮膚の脂分を過剰に除去しますので25～26度が適温で、化学的刺激を減らすために石鹼脂分を十分洗い流しましょう。ペーパータオルで優しく押さえるように水分をふき取る、十分に乾燥させる、ハンドケア剤を使用しての保湿を行うなどの対策も有用です。

(ii)の実施場面、利点、欠点、手順を示します(図4、5)。指の間や親指、手首も忘れないようにしてください。消毒薬の容器によって1回に出る薬液の量が異なることがありますので、少なくとも3ml程度、乾燥に15秒を要するくらいの十分な量を使うことが重要です。除菌効果は15秒の場合1/3000、30秒の場合1/10000～1/30000です。

WHOから提唱されている手指衛生のタイミング(5 moments)を示します(図6)。速乾性手指消毒薬はすぐに使用出来る場所

に設置することが大切です。また、時計・指輪を外す、爪を短く切る、マニキュア、つけ爪をしない、手指衛生後に首から上を触らない、などの基本を守りましょう。(図7)のように自動開栓の採用、液体石鹼の設置、ペーパータオルを使用するなど手洗い環境の整備が必要ですが、鏡がありますと、つい髪の毛に手が行きますので、ここは注意が必要です。速乾性手指消毒薬は使用期限を守らなければならず、開封日を記載し、6ヶ月以内に使い切ることが理想です。手袋はピンホールから汚染物が侵入したり、脱ぐときに汚れが付着する可能性がありますので、過信は禁物です。

速乾性手指消毒薬を用いた方法①

実施場面 手が目に見えて汚れていない場合

- ・消毒効果が確実
(時間・手技の影響を受けにくい)

利点

- ・手技が簡単・時間がかからない
- ・石けん・流水を用いた手洗いに比べ、手荒れが少ない。手洗い設備が必要ない

欠点

- ・物理的な汚物除去は期待できない
- ・蛋白性(血・尿・便・嘔吐物など)の汚染があると、十分な効果が期待できない
- ・すでに手荒れのある人が使用すると、しみて痛みが伴う

図4

速乾性手指消毒薬を用いた方法②

 <p>1 消毒薬を手のひらにとる</p>	 <p>2 はじめに手のひらにまんべんなく広げる</p>	 <p>3 片方の手のひらの上で背を擦るように指先を動かす(反対側も)</p>	 <p>4 手の甲に塗り広げる(反対側も)</p>
 <p>5 親指は両方の指をクロスさせながら擦る</p>	 <p>6 親指は片方の手で包むようにして擦る</p>	 <p>7 反対側の手首も忘れずに擦り込む</p>	<p>※乾燥に15秒は要する量も取る</p>

写真: 2014年12月20日撮影。2014年度厚生労働省「感染予防対策」(A)の国の感染制御センターより提供

図5

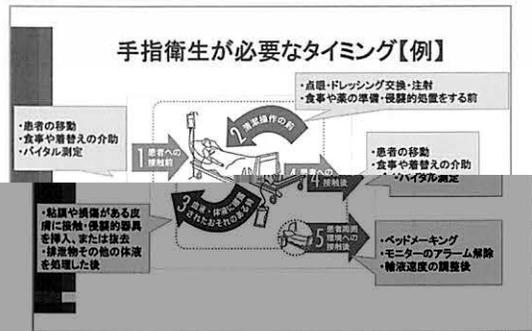


図6

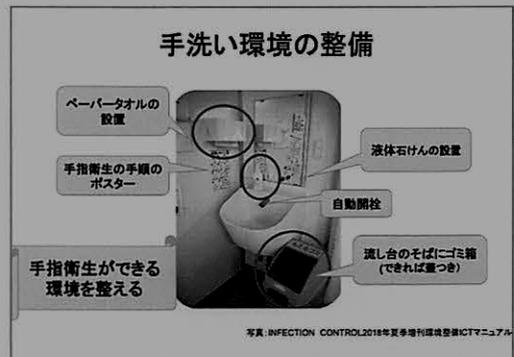


図7

次に環境整備のお話に入ります。基本的なポイントを示します(図8、9)。高頻度接触面と低頻度接触面を区別した整備が

必要で（図 10）、汚染リスクの高い場所から低い場所へ、上から下へ、部屋の奥から手前へ、高頻度接触面は 1 日一回以上の清掃が基本です。環境表面に使用する消毒薬は一般細菌には低水準消毒薬や消毒用エタノール、ウイルスには消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムを用い、芽胞は消毒薬に抵抗性を持ちますので、徹底的な清掃により物理的に除去してください。消毒薬にはそれぞれ注意点ががありますので、提示します（図 11）。小児科は感染症が多いので、待合室にポスターなどで情報提供を行うと二次感染の防止につながります。待合室の椅子の向きを一方向に揃えたり、止むを得ず向かい合わせになるときは椅子の間隔を 2 m 以上とると飛沫感染をある程度防ぐことができます。感染症が疑われる患者さんの診察を優先的に行ったり、時間がかかる際はサージカルマスクの着用をさせるなどの対策は待合室での感染拡大の防止に有効です。洗面所や手洗い場などの水回りは緑膿菌などグラム陰性桿菌が繁殖しやすいため乾燥と清掃が重要で、清掃の邪魔になる不要なものを置かないようにしましょう。トイレは医療環境の中で最も病原体の多い場所です。細菌だけでなくウイルスも多いことが特徴で、排尿・排便だけでなく嘔吐時にも使用されるため、嘔

環境整備における基本的なポイント

- ☑ 医療施設における環境整備は、感染予防のために重要である。清掃時は低頻度接触面（通常手が触れない環境表面）と高頻度接触面（高頻度に手が触れる環境表面）とを区別する
- ☑ 病院内の清浄度によるゾーニングを踏まえた清掃の作業手順や方法を行うことが重要である
- ☑ 環境の消毒は不要（接触感染防止は別）

図 8

環境整備における基本的なポイント

- ☑ 環境表面に付着した微生物は、医療従事者の手を介し医療関連感染が拡大する可能性がある。患者ゾーンと医療エリアがあることを意識し、5つのモーメントにおける手指衛生が遵守されることが重要である¹⁾
- ☑ 環境整備を行うことは、人や空調・給湯設備などを介した感染を未然に防ぎ、患者に安全・安心な医療を提供することにつながる

¹⁾ICTIにおいて必要な法令・通知とはINFECTION CONTROL 24(6)

図 9

医療機器表面	ノンクリティカル表面	
	頻回に接触する環境表面	ほとんど接触しない環境表面
通常清掃にて対応。「頻回に接触する」「血液・体液などで汚染されやすい」「清拭の困難」などの場合には、ドレープなどのカバーをかけ、カバーを定期的に洗浄・消毒する	1日1回以上の定期的な清拭・消毒	定期的な清掃 汚染時の清掃 退院時の清掃
		水平面
		垂直面
		汚染時の清掃・洗浄



INFECTION CONTROL 2018年夏刊増刊

図 10

消毒薬含浸ワイプとフォーム剤



- アルコール
- 次亜塩素酸ナトリウム
(写真提供：白十字株式会社)
- 第四級アンモニウム塩陽性形 陽活性剤
- 次亜塩素酸ナトリウム 0.1～0.5%

- 引火性があるため注意。
合成ゴム製品、化学器具などに変色することあり
- 金属腐蝕性があるため清拭後すぐに拭き取る。
ノロウイルスや C.difficile に使用。
- アルコールや塩素系で酸化しやすい機器に使用できる
- 不織布ガーゼに吹き付け清拭する

写真 INFECTION CONTROL 2018年夏季増刊環境整備ICTマニュアル

図 11

トイレの環境整備②



- 【小便器エリアの汚染しやすい箇所】
- 【大便器エリアの汚染しやすい箇所】

○印は手指の接触箇所、☆印は水分・尿の溜まりやすい箇所。

○印は手指の接触箇所、☆印は水分・尿の溜まりやすい箇所。

写真 INFECTION CONTROL 2018年夏季増刊環境整備ICTマニュアル

図 12

吐物が空中に浮遊し飛沫感染を起こす原因になります。小便器、大便器それぞれ汚染しやすい場所を意識して清掃しましょう(図 12)。

医療施設における環境整備や医療者の手指衛生は感染予防管理のために重要です。手指衛生のタイミングは 5 moments (図 6) で実施しましょう。さらに環境整備を行うことで患者さんに安全・安心な医療を提供できますので、皆様、宜しく願い致します。



平成30年度 第7回
光市医師会学術講演会

平成30年11月27日(火)

19:00～20:30

光商工会館2階 研修室

情報提供 19:00～19:15

「ボノプラザンの作用と特徴」

武田薬品工業株式会社

特別講演 (19:00～20:30)

「上部消化管疾患の現状と最近の話題」

座長 光市立光総合病院 消化器内科

部長 谷川 幸治 先生

演者 山口大学大学院医学系研究科

基礎検査学分野

教授 西川 潤 先生



光市医師会 AED 講習会

平成 30 年 10 月 25 日（木）、光市医師会の救急医療対策事業として、山口大学教育学部附属光中学校 2 年生 84 名を対象に医師 1 名、看護師 5 名、救急救命士他 3 名で AED 講習会を開催しました。



「つながる輪ひかり」講演会

平成 30 年 11 月 17 日 (土) 14:00 ~ 光商工会館 2 階 研修室

山口県医師会在宅医療推進事業として、平成 30 年 11 月 17 日 (土) 14 時から、光商工会館 2 階研修室にて講演会を行いました。

演題

「岡山市で在宅医療特化型診療所をやってみて
～在宅医療の実際と医療介護連携の難しさ
おもしろさ～」

講師 ももたろう往診クリニック

院長 小森 栄作先生

(<http://www.momotaroclinic.jp>)

参加者 医師…………… 4 名
薬剤師…………… 7 名
介護支援専門員…… 7 名
看護師…………… 12 名
歯科医師…………… 1 名
歯科衛生士…………… 3 名
保健師…………… 2 名
その他…………… 4 名
合計 40 名



平成30年度 光市医師会忘年会

平成最後の光市医師会忘年会を12月6日にホテル松原屋で行いました。

竹中会長の冒頭挨拶では、平成30年に日本の各界に衝撃を与えたハラスメント問題に関する注意喚起がありました。続いて高橋健次先生に乾杯のご発声をいただき開宴しました。今回は藤村朴先生が欠席され、楽しみにしていた手品を披露していただけませんでした。その代わりといっは何ですが、新規会員の兼清伸介先生に通常の挨拶に加えて質問コーナーにお付き合いいただきました。先生の隠れた一面を披露していただいたおかげで会場も盛り上がりました。ご母堂の逝去後間もない時期に参加していただいた忘年会で、突然のオファーを引き受けていただき誠にありがとうございました。

上田一博先生による閉会の乾杯後もここここで会話が続き、参加された皆様には楽しんでいただけたのではないかと考えております。今回も30名を越えるご出席をいただきありがとうございました。来年も皆様のご参加をお待ちしております。（井上裕介）









理事会報告

平成 30 年 10 月 光市医師会定例理事会

日時 平成 30 年 10 月 9 日（火）午後 7 時より午後 8 時 00 分

場所 光市医師会事務局

出席 竹中博昭会長、広田修副会長、谷川幸治理事 守友康則理事
井上祐介理事、田村健司理事、原田幹彦理事
藤田敏明監事

欠席 北川博之理事、前田一彦理事、丸岩昌文監事

議題

I 光市との合同協議会

平成 31 年度の光市保健関連事業等について

II 報告事項

1 郡市医師会地域包括ケア担当理事協議会（9/13）

（広田副会長）

1. 地域医療介護総合確保基金（介護分）について

消費税増収分を財源（国 2/3、県 1/3）

(1) 介護施設等整備事業（ハード事業）

光市補助：地域密着型特別養護老人ホーム

認知症高齢者グループホーム

(2) 介護従事者確保事業（ソフト事業）：昨年より追加の事業を報告

- ・他職種連携に係る事例集の作成 (3) 今後のスケジュール
- ・介護予防指導者（リハビリ専門職）による市町への介護予防体操（山口元気アップ体操）指導の実施

・認知症カフェサミットの開催；カフェ関係者等を対象とした講演会、テーマ別分科会、パネル展示等を実施

・介護のしごとインターンシップ事業；即戦力となる大学生等に対して事業所におけるインターンシップを実施

2. 地域支援事業（在宅医療・介護連携推進事業）の取り組み状況について

8つの具体的な取り組みを実施、光市は 29 年度までに実施済み

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握、(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討、(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援、(カ) 医療・介護関係者の研修、(キ) 地域住民への普及啓発、(ク) 在宅

医療・介護連携に関する関係市町間の連携

3. 認知症施策の取り組み状況について

平成 29 年の取り組み

(1) 認知症に対する理解の促進

キャラバンメイト（県民向け認知症講座の講師役）の養成；115 人
認知症サポーター養成；13,961 人

(2) 人材の育成

かかりつけ医認知症対応力向上研修；94 人
認知症サポート医；26 人
認知症サポート医フォローアップ研修；21 人

(3) 広域的な支援・相談体制の構築

巡回相談の実施；3 か所
認知症コールセンターの設置運営（週 3 日）；相談件数 237 件

(4) 若年性認知症対策

(5) 認知症疾患医療センターの指定：周南地区は泉原病院（27.1. 1）

平成 30 年度の取り組み

(1) ～ (5) の取り組みを継続

新規事業

(2) 認知症カフェサミットの開催

(4) 若年性認知症対策として、地域内の支援ネットワークを推進するための研修会等の開催（2 圏域）

4. 「地域包括ケア構築のための下関市医師会の取り組み」

演者 下関市医師会 理事 飴山 晶先生

2 第 1 回周南医療圏地域医療構想調整会議（9/20）（竹中会長）

(1) 平成 30 年度第 1 回病床既往検討部会の協議結果（9 月理事会で報告済）

(2) 調整会議の取り組み促進に係る対応について

① 個別の医療機関ごとの具体的対応方針の協議，決定

- ・ 公立病院：新公立病院改革プランを策定し地域医療構想調整会議において平成 37 年に向けた具体的対応方針を協議する
- ・ 公的医療機関等：2025 年プラン対象医療機関：2025 年プランを策定し地域医療構想調整会議において平成 37 年に向けた具体的対応方針を協議する
- ・ 都道府県は過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合は当該医療機関に調整会議への出席と、病床機能を転換する理由の説明を求める

② 次の医療機関に対する対応（資料 2-1）

- ・ 病床がすべて稼働していない病棟を有する医療機関：調整会議に出席させ稼働していない理由、今後の見通しの報告を求める
- ・ 新たな増床許可申請を行う医療機関：調整会議に出席させて病床整備計画の必要性、妥当性につき報告を求める

③ 平成 29 年度病床機能報告の結果（資料 3-1）

・平成 29 年度：前年度に比べ回復期病床が 71 床増床、慢性期 273 床減床。

周南医療圏では慢性期 59 床が減床

④ 平成 30 年度医療機能分化連携推進事業（資料 4）

急性期病床の削減、慢性期病床の廃止のための施設整備に対し、地域医療調整構想会議において整合性を確認したうえで県から補助金が出る

資料 1～4 は事務局へ

3 平成 30 年度都市医師会特定検診・特定保健指導担当理事

及び関係者合同会議（9/27）（井上理事）

平成 27 年度から 3 期連続で国保特定健診実施率が全国最下位になっている現状を踏まえて、今後の対策に関する討論に時間が割かれた

(1) 平成 29 年度実施：別紙①～③

全国：山口県最下位

光市：県内の平均は上回っているが減少傾向続く

(2) 平成 30 年度実施結果

国保：8 月現在の状況は受診率 5.1 → 4.8%

社保：実施機関：710 → 687、請求件数：2134 → 1870

協会健保・公立学校共済：30 年度中途実績発表なし

(3) 平成 30 年度実施状況（取り組み）

光市：昨年度受診者数上位の医療機関に国の発出文書持参のうえ、受診勧奨

長門市・柳井市：かかりつけ医からの情報提供（診療時の検査結果を情報提供）

(4) 県からの交付金について 別紙④

別紙①～④は事務局へ

以上を報告した。

III 協議、承認事項

1. 山口県医師会地域包括ケア推進事業について（竹中会長）

(1) 地域包括ケアシステム推進を目的として多職種職員を対象に在宅医療に関する講演会を企画

平成 30 年 11 月 17 日（土）14：00- つながる輪ひかり

講演：ももたろう往診クリニック（岡山市）小森栄作先生

<http://www.momotaroclinic.jp>

(2) 医師会員全体の地域医療に対する理解度を底上げするため、健康長寿、在宅

医療と多職種連携に関する書籍を購入し各医療機関に配布

会長、副会長で決定

上記 1、2 は計画として県医師会に提出済

2. 周南医学会について

（竹中会長）

徳山医師会引き受け

平成 30 年 10 月 21 日（日）9：30～

周南市学び・交流プラザ

2019 年度は光市医師会引き受け

3. 忘年会について (井上理事)

平成 30 年 12 月 6 日（木）19 時～ ホテル松原屋

4. 2018 ふれあい健康フェスティバルについて (竹中会長)

9：30～12：00 光市医師会健康相談コーナーを設置

広田副会長が担当

以上を協議・承認した。

平成 30 年 11 月 光市医師会定例理事会

日時 平成 30 年 11 月 13 日（火）午後 7 時より午後 8 時 30 分

場所 光市医師会事務局

出席 竹中博昭会長、広田修副会長、谷川幸治理事、守友康則理事、
北川博之理事、前田一彦理事、田村健司理事、原田幹彦理事
藤田敏明監事

欠席 井上祐介理事、丸岩昌文監事

I 報告事項

1. 平成 30 年度第 1 回都市医師会会長会議（10/11） (竹中会長)

議題

(1) 中央情勢報告

① 日本医師会第 142 回定例代議員会

・H.30 年度医療機能分化推進事業

・徳山病院の慢性期病棟から回復期病棟への転換に伴う 設備整備

(4) 国民健康保険の財政調整等のための交付金の交付基準案について

特定健康診査担当の検査を要している場合、検査結果提供による

H37 (2025) 33,196人 29,487人 3,709人

具体的な展開に関する資料は事務局へ

5. 第124回周南医学会

平成30年10月21日(日)日時 周南市学び・交流プラザ 場所 多目的ホール

開催引受 徳山医師会

一般演題 18 演題

光市医師会からは光市立光総合病院消化器内科(谷川先生)より1題

特別講演:最新がん免疫療法の現状と将来展望

講師:山口大学免疫学講座 玉田耕治 先生

H31年は光市医師会が引き受け:H31年10月20日(日)予定

6. 平成30年度第1回光市地域包括支援センター運営協議会(10/25) (竹中会長)

(1) 平成29年度光市地域包括支援センター事業報告

ア 介護予防ケアマネジメント事業

平成29年度から介護予防・日常生活支援事業(総合事業)が開始となった。
総合事業の対象者には以下の2種類がある。

- ・介護認定で要支援と判定された人の内、通所介護、訪問介護のみ利用する人
- ・基本チェックリスト該当者(光市地域包括支援センター内では「事業対象者」という呼び方をしている。本資料で事業対象者とは総合事業の対象者全員の事ではなく、基本チェックリスト該当者のことを指す。)

平成29年度介護認定者合計2,762人、要支援割合791人(28.6%)

要支援1:340人、要支援2:451人、計791人中330人が予防給付、
362人が総合事業を利用し、利用率は87.5%であった。

イ 一般介護予防事業

(i) 介護予防普及啓発事業:認知症予防講演会、口腔機能向上講演会、
出前講座

(ii) いきいき百歳体操の普及:H28年度は2モデル地区で行った。

H29年度は更に6団体を新規に始め、計8団体に行った。

ウ 総合相談事業

平成29年度相談件数:2,786件

介護保険や認知症に関する市民からの相談を受け付けている。

相談者数は増加傾向で、介護サービス、認知症に関する相談が多い。

エ 権利擁護事業

虐待予防講演会1回

制度利用:地域権利擁護事業7件、成年後見人制度利用相談71件、
成年後見制度4件

高齢者虐待:H29年度通報14件、虐待と認定8件

オ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

(i) 地域ケア会議:全体会議3回、個別会議38回

- (ii) 介護支援専門員活動支援事業：研修会年 6 回
- カ 認知症対策事業
 - (i) 認知症を予防し、早期発見・早期対応を図る
 - 認知症初期スクリーニング、物忘れ 相談、認知症予防講演会、出前講座、認知症初期集中支援講座
 - (ii) 認知症を理解し、地域で支える
 - 認知症サポーター養成講座、認知症サポーターレベルアップ研修 ひかり見守りネット、認知症高齢者等声掛け訓練、認知症カフェ
 - (iii) 包括的・継続的な支援体制の整備：認知症地域支援推進員の設置
- (2) 平成 29 年度光市地域包括支援センター収支決算
- (3) 平成 30 年度光市地域包括支援センター運営方針
- (4) 平成 30 年度光市地域包予防括支援センター事業計画
29 年度と同様に事業を進める。
- (5) 平成 30 年度光市地域包括支援センター収支予算
- (6) 平成 30 年度光市地域包括支援センターの評価指針
- (7) 光市介護支援ボランティアポイント事業
- (8) 生活支援体制整備事業
報告書は事務局へ
- 7. 平成 30 年度第 1 回光市環境審議会（10/25）（田村理事）
光市の環境保全に関する報告、審議
詳細は <https://www.city.hikari.lg.jp/seisaku/kankyousingikai.html> へ
- 8. 郡市医師会労災・自賠責保険担当事業協議会（11/1）（守友理事）
労災診療費に関する要望書を山口労働局長ではなく、厚労省、日医へ提出
トラブル事例の報告
山口県医師会自賠責保険研修会
平成 31 年 1 月 17 日（木）山口グランドホテル 15 時～ 17 時
労災レセプトオンライン請求に協力依頼
アスベストによる障害に対する保障には期限があるので（H.34.3 月）啓発を
- 9. 郡市医師会産業保健担当事業協議会（11/8）（原田理事）
産業医による長時間労働者、ストレスチェック指導のコストについて
平成 31 年度産業医研修会の希望開催日、テーマを募集
山口県産業医研修会
平成 31 年 1 月 12 日（土）山口県総合保健会館 15 時～ 17 時 15 分
- 10. 地域包括ケアに関する書籍の選定と配布について（広田副会長）
 - ① 医療・介護・福祉の地域ネットワークづくり事例集
 - ② まちづくりとしての地域包括ケアシステム：持続可能な地域共生社会をめざして
 - ③ よくわかる地域包括ケア（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ）
市内全医療機関へ配布

11. 会員の異動について

松村壽太郎先生 A 会員 → C 会員

以上を報告した。

II 協議、承認事項

1. 周南三市医師会役員会について (竹中会長)
平成 30 年 12 月 12 日 (水)
協議内容の確認
2. 講演会等の出席の確認について (広田副会長)
資格や単位に伴う講演会の出席確認が厳格化している (途中退出時の出席無効等)
谷川先生を中心に平成 31 年以降のルール化を進める
3. 休日診療所での抗インフルエンザ薬ゾフルーザの採用について (前田理事)
今年度は採用見送りとした。

以上を協議・承認した。

平成 30 年 12 月光市医師会定例理事会

日時 平成 30 年 12 月 11 日 (火) 午後 7 時 00 分より午後 8 時 00 分

場所 光市医師会事務局

出席 竹中博昭会長、広田修副会長、守友康則理事、谷川幸治理事、北川博之理事、
井上祐介理事、前田一彦理事、田村健司理事、原田幹彦理事、藤田敏明監事

欠席 丸岩昌文監事

議題

I 報告事項

1. 平成 30 年度都市医師会学校保健担当理事協議会・学校医部会合同会議 (11/15) (広田副会長)
 - (1) 平成 30 年度中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡会議 報告
詳細は山口県医師会会報
<http://www.yamaguchi.med.or.jp/> 平成 30 年 11 月号 (第 1899 号) 参照
 - (2) 平成 30 年度中国地区学校保健・学校医大会 報告
詳細は山口県医師会会報
<http://www.yamaguchi.med.or.jp/> 平成 30 年 10 月号 (第 1898 号) 参照
 - (3) 第 49 回全国学校保健・学校医大会
詳細は山口県医師会会報 H30 年 12 号掲載予定
 - (4) 「学校医活動手帳」の活用状況について
光市は提出率 93.8% (H29 年 100%)
全県 33.1% (H29 年 29.2%)

学校医の活動の意義、法的な仕組みを簡潔に記載してある。

2年後より「がん教育」が開始される

学校医に指導の依頼がくる可能性があるので、勉強してほしい

参考：http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1370005.html

(文部科学省サイト)

(5)「学校医の手引き」改訂について

前は、2012年発行

2020年3月発行予定 広田分担執筆

(6)学校検尿について

尿潜血、尿たんぱくの精密検査に回す基準を31年度から(±)から(1+)へ変更する。尿糖は(±)で変更なし

(7)平成30年度学校医研修会・予防接種医研修会・心臓精検研修会

平成30年12月9日(日) 13時～ 山口県医師会館 6F会議室

(i)何が起きているコンタクトレンズ問題

講師：ウエダ眼科 院長 植田喜一先生

(ii)予防接種をされるすべての先生方へ

～輸入が続く麻疹風疹：国際的視野からの予防対策を～

講師：総合病院山口赤十字病院 第2小児科部長 門屋 亮先生

(iii)不整脈を持つ児童生徒の管理

講師：山口県医師会学校心臓検診検討委員会 委員長 砂川博史先生

(8)脊柱異常に対する二次検診(精密検査)結果通知書の変更について

2. 認知症疾患医療連携協議会(11/22) (丸岩監事)

(1)周南地区の認知症カフェについて

11箇所あり、光市内には3箇所

おれんじカフェえがお(第3土曜10～15時 丸岩宅)

おれんじカフェえがお in むろづみ(第4日曜13時半～15時半 光寿苑)

おれんじカフェえがお in やまと(第2木曜13時半～15時半 大和病院)

うたごえカフェ(第4金曜14時半～16時半 カフェ・アゴラ)

(2)認知症初期集中支援チームについて

検討委員会を設置し、チームの業務内容、課題などを検討する

(3)泉原病院認知症疾患医療センター報告

H29年度 H30年度(9月まで)

初診者数 174名 92名 光市からは4名

入院者数 88名(のべ) 45名(のべ)

認知症疾患医療連携協議会を開催

研修を実施 次回はH31.2.24 詳細は事務局へ

3. 日本医師会医療政策後援会、日本医師連盟医政活動研究会(11/25) (竹中会長)

東京で開催 竹中会長上京し参加

「日本医師会の医療政策」「日本の医療 その課題と展望」「今後の社会保障制度」などの講演あり

4. ふれあい健康フェスティバル(11/25) (広田副会長)
光市医師会 健康よろず相談コーナー 担当 広田
9時半～12時で、12人の相談を受けた
5. 村岡嗣政山口県知事との交流会(11/30) (竹中会長、広田副会長)
県知事講演
「活みなぎる山口県の実現へ向けて ～3つの維新への挑戦～」
参照：<http://u0u1.net/OorO>
<http://u0u1.net/Oos0>

以上を報告した。

II 協議、承認事項

1. 光市職員のストレスチェックに係る面談 (原田理事)
光市と医師会で契約案を作成
2. 妊婦検診について (北川理事)
妊婦加算の取り扱いについて
3. 周南地域メディカルコントロール協議会より
救急隊からの「観察カード(案)」の承認について (前田理事)
周南地区で様式を統一する
4. 平成31年度休日診療所当直について (前田理事)
4月28日からの連休を含む、2019年度の予定を承認
5. 職員冬季賞与について (井上理事)
原案通り承認
6. 会員の入会、異動 (竹中会長)
新規入会(12月) 兼清信介先生(兼清外科)
異動(2019年1月) 兼清照久先生(A会員 → B会員)
7. 幼稚園・保育園関係者と園医・学校医の集い (北川理事)
平成31年1月27日(火)19時～ 光商工会議所2階大会議室
「日本の少子化は、今後どうなるの? (仮題)」
講師：梅田病院 院長 北川博之 先生
8. 在宅医療関連講師人材養成事業研修会への推薦について (竹中会長)
9. 会員見舞い金について (竹中会長)
2件を承認

以上を協議・承認した。

入会・異動会員

入会会員

12月1日付

A会員 兼清外科 兼清 信介

異動会員

10月1日付

A→C会員 松村医院 松村壽太郎

光市医師会入会のご挨拶

兼清外科 兼清 信介

皆様はじめまして。平成31年1月より兼清外科を引き継ぐことになりました兼清信介と申します。この度光市医師会に新会員として迎えていただきまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

まずは、自己紹介をさせて頂ければと思います。私は兵庫県高砂市に生まれ、小学校3年生の時に、父（兼清照久）の開業に伴いまして、光市へ移ってまいりました。浅江小学校、山口大学教育学部附属光中学校、徳山高校（理数科）を経て、平成10年に山口大学医学部入学致しました。大学時代は、どうしてもサーフィンがしたかったので、同級生でサークルを立ち上げ、夏は宮崎、冬は凍てつく日本海（山口県は冬がサーフィンの本場です）へと遠征をしておりました。もっと学生時代に勉強をしておればと後悔しておりますが、青春は十分に満喫しました。学生時代より外科学に興味がありましたので、卒業後の進路はほぼ決めておりましたが、ちょうど私が卒業した平成16年より初期臨床研修医制度がスタートしたため、1年目は関門医療センター、2年目は

領域でいえば、全国の有名大学、病院に相談できる先生がいますし、実際にやり取りしていました。私は医療が多様・複雑化している現代において、医師一人でカバーできる診療範囲には限界があり、かつ独善的であってはならないと常に考えています。しかしながら、患者さんにとっての病気の窓口はかかりつけの先生しかいないことも多いのが現状かと思えます。電話一本あるいはメールで相談に乗ってくれる先生を多く持つことは、それだけ診療に幅を広げられると考えています。

以上思いつくままに書いてしまいましたが、父の築き上げた信頼と実績を継承しつつ、少しでも自分のできることの枠を広げ、前に進んでいきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

平成30年度会務分担表

	業務区分	担当理事	担当補佐
1	総務	竹中博昭	広田修
2	庶務・会計	井上祐介	竹中博昭
3	広報	広田 修	井上祐介
4	生涯教育	谷川幸治	井上祐介、吉村将之
5	医療情報システム	広田 修	谷川幸治
6	医療保険	守友康則	丸岩昌文、河内山敬二
7	介護保険	守友康則	丸岩昌文、河内山敬二
8	労災・自賠責保険	守友康則	丸岩昌文、原田幹彦
9	医事紛争・診療情報	前田一彦	藤田敏明、秋吉宏規
10	麻薬	北川博之	田村健司、市川淳二
11	地域医療・地域包括ケア	広田 修	藤田敏明、井上祐介
12	救急医療	前田一彦	多田良和、原田幹彦
13	小児救急医療	広田 修	松島寛、山手智夫
14	妊産婦・乳幼児保健	北川博之	多久島康司、松島寛、山手智夫
15	学校保健	広田 修	松島寛、山手智夫
16	成人高齢者保健・特定健診	井上祐介	田村健司、吉村将之
17	産業保健	原田幹彦	多田良和、守友康則
18	医業経営（労務・税制）	田村健司	前田一彦、市川淳二
19	医療廃棄物	田村健司	前田一彦、秋吉宏規
20	会員福祉	井上祐介	藤山純一、吉村将之

平成30年度事業計画概要

	業事内容	
1	定時総会	5月24日(木) 18:10~
2	月例会	第4火曜日
3	理事会	第2火曜日
4	学術講演会	第4火曜日・第1火曜日(予備)
5	合同症例検討会	9月4日(火)、3月5日(火)
6	生涯研修セミナー(県医師会)	5/13 9/2 11/18 2/17
7	山口県医学会総会	6月17日(日)(下松)
8	周南医学会	10月21日(日)(徳山)
9	納涼懇親会	7月28日(土)
10	忘年会	12月6日(水)
11	周南三市医師会役員会	12月12日(水)(徳山)
12	光市学校保健会総会並研修会	6月28日(木)(教育委員会)
13	市民公開講座	
14	ファミリー&フレンズ講習会	毎月第3土曜日(光市立光総合病院)
15	AED講習会	10月25日(木) 附属光中学校
16	光三師会(薬剤師会引受)	10月26日(金)
17	認知症サポーター講座	
18	幼稚園・保育園関係者と園医の集い	平成31年1月29日(火)

月例報告会

平成30年10月23日(火)

1. 山口県医師会地域医療包括ケア推進事業に基づく講演会(11/17)について
2. 地域医療介護連携システムの進捗状況について
3. 忘年会の日程について

10月休日診療所当番医報告

10月		内科系	外科系	
	7(日)	15	2	17
	8(月)	12	8	20
	14(日)	3	3	6
	21(日)	7	4	11
	28(日)	8	2	10
	計	45	19	64

11月休日診療所当番医報告

11月		内科系	外科系	
	3(土)	20	6	26
	4(日)	14	6	20
	11(日)	8	3	11
	18(日)	13	4	17
	23(金)	18	6	24
	25(日)	11	6	17
	計	84	31	115

12月休日診療所当番医報告

12月		内科系	外科系	
	2(日)	13	5	18
	9(日)	13	7	20
	16(日)	10	6	16
	23(日)	24	6	30
	24(月)	8	12	20
	30(日)	43	10	53
	31(月)	62	11	73
計	173	57	230	



☆ これからの行事予定 ☆

1月	8日(火)	理事会
	22日(火)	月例会・学術講演会
	29日(火)	幼稚園・保育園関係者と園医・学校医のつどい
2月	12日(火)	理事会
	26日(火)	月例会・学術講演会
3月	5日(火)	合同症例検討会
	12日(火)	理事会
	26日(火)	月例会・学術講演会

緑友会ゴルフコンペ成績

平成30年10月21日
周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	守田 忠正	48	46	94	13	81
準優勝	前田 昇一	51	51	102	18	84
3	森本 博士	41	48	89	4	85
4	横山 宏	52	45	97	10	87
5	宮本 寿太郎	60	47	107	19	88

DC ⑧森本
NP ②⑥森本 ⑰横山
ドラ短 前田 横山

平成30年12月9日
周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	宮本 寿太郎	47	49	96	19	77
準優勝	森本 博士	40	44	84	4	80
3	横山 宏	41	51	92	10	82
4	赤崎 信正	52	51	103	19	84
5	守田 忠正	47	48	95	10	85
6	國近 豊	46	55	101	16	85
7	前田 昇一	53	51	104	18	86
8	佃 浩一郎	52	58	110	24	86
9	兼清 照久	49	58	107	14	93
10	南 典文	55	64	119	24	95

DC ⑧國近 ⑮守田
NP ⑥横山 ⑬宮本
ドラ短 前田

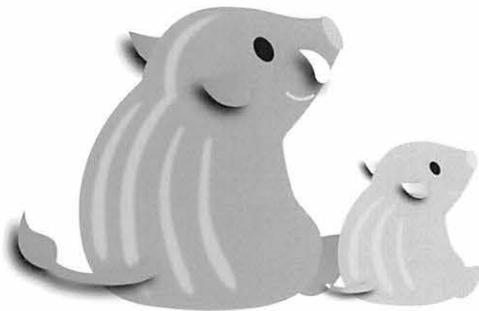
編集後記

表紙写真は2019年1月1日に室積海岸で撮ったものです。元日の午後から荒れ模様の天気でしたが、夕方になり、写真の様な光景となりました。

「天使のはしご」と呼ばれる、気象学的には「薄明光線」という現象です。太陽光線を遮るほどの厚い雲にできた隙間から光が漏れだす、チンダル現象の大きなものです。宮沢賢治は「光でできたパイプオルガン」と表現したそうです。

2019年の幕が上がりました。明るい、実りの多い一年になりますように。

(広田 修)



発行所 光市医師会
TEL (0833) 72-2234
発行日 平成 31 年 1 月 31 日
発行者 竹中 博昭
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目 15 番 20 号
中村印刷株式会社